

女 男

「なくしたもの」

亀尾佳宏

段ボールが積み重ねられている部屋。
女が何かを探している。

大きな段ボールの中に立っている男がその姿をみながら井上陽水の「夢の中へ」の
ような歌を歌う。

♪（歌）

あの一。

はい。

下手ですね。

そんな気がしました。

だったら何で歌ったんですか。

気分です。

気分？

男 男 女 男 女 男 女 男
ほら。探してるから。さっきからずっと探してるから、歌いたい気分になったんで
す。さっきからずっと見つけにくいもの探してるから。（歌 「夢の中」）

女 女 男 女 男 女
あの、少しだけ

ん？

少しだけでいいんです。

はあ。

黙っててくれませんか？気が散るんで。

男 女 男 女 男 女
ああ、ごめんなさい。

女は探し続ける。男は見つめている。
手を止める。

女の
あの一。

男 女 男 女 男 女
はい。

黙ってそこに立ってられると、気が散っちゃいます。

黙ってろって。

女 女 男 女 男 女
はい、言いました。でも

でも

喋ってなくても気になります。

女 女 男 女 男 女
じゃあどうすれば

消してください。

電気？

女 男 女 男 女 男 女
心配。

男 自分でもちよっと驚きました。意外と長かったでしょう。
女 長かったです意外と
男 タバコやめてたらもうちよっとは
女 いいです今更
男 でも止めないと、息
女 止めなくていいです。息は
男 せっかく消してたのに。
女 だったらいっそ
男 いっそ
女 息の根止めて
男 息の根!?
女 そのまま消えてくれても良かったのに。

間。

女 冗談ですよ。
男 そうは聞こえませんでした。
女 そうですか。
男 ええ、真顔でした。
女 もともとこんな顔なんです。
男 色、白いですね。
女 もともとこんな顔なんです。
男 夏なのに
女 日焼け、嫌いなんで
男 そうだと思ってました
女 思ってたのなら聞かないください
男 あの、手
女 はい?
男 手、止まっています。さっきから。探さないんですか。
女 あなたが気になることするから
男 何もしてませんよ。
女 息を止めたり。
男 させたんでしょ
女 誰も言ってませんよ、息を止めるなんて
男 でも気配消せて
女 消えてました?今

男 男
女 女
男 男
女 女
消してください
電気？
いえ、記憶を。

間。

男 男
女 女
男 男
女 女
冗談ですよね
冗談です
笑いどころがわからない
いいです。笑わなくて
ええ、笑えませんが。
さっきから
はい。
全然見つかりません。
それは探してないから。
気が散るんですもん
じゃあどうしたら
言ってるじゃありませんか。気配消してって
そうしたら
そうしたら、見つかると思うんです。
わかりました。
消せるんですか
わかりません
どっち？
消せるかどうかはわかりませんが、やってみます。

男、大きな段ボールの中に入って姿を隠す。
女、探し始める。
男、内側からカッターで小窓をつくり顔を覗かせる。
女を見ている。

女 女
男 男
女 女
男 男
気になります。
そうですか。
ええ、かなり。
できるだけ、音を立てないように気をつけたんですが。

女 音とか、そういう問題じゃなくて。
男 姿も、できるだけ見せないように。
女 ええ、だいた見えなくなりました。
男 でしょう。

女 でも、
男 でも？

女 余計気になります。
男 なぜ

女 体が見えない分、見えてる部分が余計に
男 うまく気配消せたと思ったんですが

女 そこ、開けるまでは良かったと思いますよ
男 ああ、ここ。

女 どうして開けたんですか
男 だって、見えないじゃないですか。あなたが本当に探してるか
女 探しますよ。

男 見つからないじゃないですか

女 それはあなたが邪魔するから
男 私のせいですか。

女 そうは言ってません。
男 言いましたよ。割とはっきり。

女 聞こえるんですか。そこで。
男 聞こえますよ。割とはっきり。

女 あのお願いですから、どちらかにしてもらえませんか？
男 どちらかって？

女 気配を消すか、そこから出てくるか。

男 間。
男、くり抜いた小窓を塞ぐ。

女 そっちを選んだんですね。
男 . . .

女は探す。見つからない。
子どものおもちゃのようなものを見つける。それは探していたものではない。
けれども、そのおもちゃで懐かしそうに遊び出す。

男は立ち上がって上半身だけ体を出しそのさまを見つめる。

女はまた一人探そうとして、別の場所の気配に気づく。

女 女 女 女

あの一。
あの、少しだけ
少しだけでいいんです。
消してもらっていいですか。気配。

男が別の段ボールから出てくる。女ものの服を抱えて。

男 女 男 女 男 女 男 女 男 女 男 女 男 女 男 女 男 女

消えてませんでした？
ええ、全く。
そんな気がしてました。
それは。
見つけました。
それが。
探したものの。
ワンピース。
あの人は白が好きだった。
夏にはいつも
白いワンピース。それから、そこ。
日傘。
日焼けするのが嫌いで。
帽子。
クリーム。
手袋。
薄手のスカーフ。
だから君も、そんなに白くて。
。。。

男は手にしていたものを女に渡す。
男は段ボールの中から何かの痕跡を見つけようとする。
ふと気づくと、女は受け取ったものを身につけている。
それは、女が探していたものと、男がなくしてしまったものの姿。

了

